

相談 大学病院 男性患者

森下：あ、看護婦さん！

水野：はい、どうされましたか。

森下：いや、先生がああいうのはね、なんかちょっと、違うんじゃない。

水野：えっと、森下さんですか。今、先生から説明されて、貰った森下さんですね。

森下：そうですね、皆さんね、最初はそのように、おっしゃるんですけども、森下さんも
せつかく健康診断で早期に見つかって、今このように検査入院になったんですから、
先生の方針に従って、検査受けられた方が良いとは思うんですけどもね。

水野：いや、ガンって言われてもね、どこも痛くないし、ピンピンしてるし。間違いじゃないの。

森下：お家の方では、食欲がなくなるとか、時々吐いたりとか、痛みとか、そういうことは
ありませんでしたか。

水野：いやいや、すこぶる順調、健康そのものですよ。

森下：お酒とかは、多めに召し上がってらっしゃいますか。

水野：まあ、そりゃ付き合いもあるんでね、時々まあちょっと飲むことはありますけども。

森下：あとご家族でね、ご兄弟とかご両親とかで、そういう悪い病気になったこと等はあ
りませんかね。

水野：親父がね、ガンで逝きましたけど、まあ、そりゃもう年ですからね。

森下：でも、今、そういう悪性の病気っていうのは、結構多いんですよ。ですから、早
期に見つかっただけでも良いと思いますので。

水野：まあ、そう言われりゃね。でも、信じられないんだよね。

森下：でも、早期に見つかって、今後検査とかね、進めて行って、手術とかを早目にやっ
て、やったの方が生存率も高いですし。なんとか、覚悟を決めて、検査の方、進
めて行ってはどうでしょう。

水野：わかりました。どうも、ありがとうございます。

森下：では、失礼いたします。また何かわからないことがありましたら、いつでもお答え
しますので。